

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 12:00	
コート	Aコート	第3試合
カテゴリー	女子	決勝
主審	福岡 敏徳	
第1副審	佐田 明美	
第2副審	山中 萌衣	

TEAM A			TEAM B		
精華女子	95		71	小林	
福岡1位				宮崎2位	
○				●	

【BOXスコア】

TEAM A		精華女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	樋口 鈴乃	◎ 18	2	6		1	
5	屋宜 沙弥香	0					
6	木村 瑞希	○ 25		11	3	3	
7	三浦 舞華	○ 29	3	8	4	1	
8	吉原 陽世	0					
9	嵐 夏妃	0				1	
10	仲真 華子	0					
11	齊藤 風香	○ 9	2	1	1	1	
12	日高 ひかる	0					
13	徳永 夏	0					
14	中園 陽菜乃	○ 14	1	4	3	3	
15	高木 愛華	0					
16	岡田 ひまわり	0					
17	野田 みどか	0					
18	倉掛 日和	0					
コーチ	大上晴司						
合計		95	8	30	11	10	

TEAM B		小林高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宮崎 叶	0					
5	老山 花歩	○ 5	1	1		5	
6	フェスターガード ヤマ アマンダ	◎ 27		13	1	3	
7	園田 夏菜	○ 11		5	1	5	
8	坂本 光奈美	0					
9	黒木 和花	0					
10	菅野 伊万里	0					
11	橋本 佳歩	0					
12	古閑 万優子	0					
13	松原 志帆	○ 6		3			
14	江頭 璃梨	○ 12		6		2	
15	高橋 小春	0					
16	平田 莉奈	4		2			
17	川合 希朱	6		3		1	
18	田上 凜	0					
コーチ	前村 かおり						
合計		71	1	33	2	16	

【戦評】

全九州大会決勝、福岡県1位精華女子対宮崎県2位小林との対戦、精華女子#4、#6、#7、#11、#14、小林#5、#6、#7、#13、#14のスターティングメンバーで試合開始。第1Q、両チームともハーフコートのマンツーマンでスタートするが、いずれのチームもシュートがリングに嫌われ序盤はロースコアの展開。小林は#6のドライブから、精華は早いトランジションからブレイクを仕掛け、お互い流れを引き寄せようとする。走り勝った精華が21対17とリードして第1Q終了。第2Q、まず精華#4のジャンパー、続いて小林#13がお返し。すると精華はさらに#11の3ptsでお返し。1Qとうって変わって点の入れ合いの様相。精華はリバウンドからの速攻をで足を止めずに徐々にリードを広げる。小林は#6の1on1からスコア、味方が空けばアシストと、得点を重ねる。一方、精華は#7がファウルを受けながら3ptsを沈めての4点プレイなどで50対40とリードして前半終了。第3Q、一進一退の展開の中、精華は#4がこの試合始めて3ptsを決めるが、小林は#6のパスから#7のシュートがバスケットカウントとなり3点プレイ。小林が点差を詰め流れを掴みかけると、#6、#7が2点をねじ込み流れを渡さない。結局74対57で精華がリードを広げて第3Q終了。第4Q、精華は#6のインサイドとミドルからのジャンプシュート、#4の3ptsで攻めるが、小林は#7と#14のコンビネーションが冴え点差が動かない。最後は精華#7が3ptsを沈めて95対71で試合終了。精華女子が今大会の頂点に立った。両チームの強い気持ちがコート上に表現された好ゲームだった。

【戦評記者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会